

# 社会基盤工学科 3年

測量の最前線に触れる

市内測量業会社が指導

2026年(令和8年) 6月21日 日曜日

南 信 州 新 聞

## 測量の最前線に触れる

OIDE長姫高  
社会基盤工学

地元業者を講師に実習

飯田OIDE長姫  
高校社会基盤工学科

の3年生38人は16日、

最新測量機器を使っ

た実習を飯田市鼎名

古熊の矢高公園グラ

ウンドで行った。市

内の測量業者4社が

機器を持参し、講師

として指導。生徒た

ちは現場の測量技術

を学んだ。

飯田長姫土木会と

測量設計業協会南信

支部が協力し、最新

の機器に触れる機会

を提供しようと毎年

開いている。今年で  
16回目。

この日は4社の8

人が講師を務めた。

生徒たちは説明を受

けながら操作し、1

人で観測できる機器

など、測量現場で使

われている最新の技

術に触れた。

講師を務めた同校

卒業生の藤測の熊谷

高志さん(49)は「技

術を学ぶことも大切

だが、業界の先輩た

ちと話し、現場の雰

囲気を知ることが良

い経験になる。自分  
の時代にはこうした  
実習はなかったため  
恵まれている」と話  
した。

社会基盤工学科3

年の近藤歩夢さん  
(17)は「いろいろな教  
わり勉強になった。  
測量の技術者も職業  
選択の一つにした  
い」と話していた。



最新測量機器を学ぶ生徒たち

2026年(令和8年) 6月26日 金曜日

南 信 州 新 聞

OIDE 長姫高

# 学びの成果をマシンで

電子機械  
工学科 マイコンカーG P

飯田OIDE長姫高校電子機械工学科3年生38人によるマイコンカーグランプリが24日、同校で開かれた。機械技術や電気電子技術、制御(情報)技術を系統的に学び、成果を発表する機会として開く大会。1、2年生や保護者らが見守る中、生徒たちが学びの成果を披露した。同科独自の活動として2019年に創設。今回で8回目を迎えた。

白線で描かれたカーブや直角、鋭角などの特徴を備えたライン(コース)上にマシンを走らせ、ゴールまでの最速タイムを競う。マシンに使用するセンサーやマイコンボード基板の設計、3D-CAD(キャド)を用いた車体の設計は生徒自身が手掛け、ラインを正確に読み、よ



熱戦を繰り広げた第8回大会

がインタビュや実況を交えながら、会場を盛り上げた。予選タイムの上位8人による決勝トーナメントで上位3人を表彰したほか、ベストタイム賞や投票によるベストデザイン賞なども贈られた。実行委員長を務め

た3年の藤村宗憲さん(17)は、大会をスムーズに運営できるように、競技環境を整えることに力を注いだ。下級生に向けては「大会を楽しんでほしい」と呼び掛けている。

## 電子機械工学科 3年

ライトレース大会開催

過去8大会中 最速タイムで優勝